前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏(法人にあっては名称)						住	住 (法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 712-8633									
名 旭化成ケミカルズ株式会社						所	所 岡山県倉敷市潮通三丁目13番地									
本票	本票作成 部署名: 水島製造所 環境安全部 環境グループ															
主だ	たる業	種	分類ード	16	業種	名:	化学エ	二業								
事機概	業の要	石油	化学	系基	礎製品	製造	業・フ	プラン	スチック	製造業	Ē					
県内の 主 な 工場等		番号	-			工場	等の名	名称					所 在	主 地		
	カの 	1	旭	化成	ケミカ	ルズホ	朱式会	社	【B地区】		岡山	J県倉敷⋷	<b></b> 方潮通三	厂目13番均	也	
		2	(	以下:	を含む)	)										
	な	3	旭	化成:	エポキ	シ株式	式会社	: 기	k島工場		岡山	J県倉敷⋷	<b></b>	┌目13番埠	也	
	場等	4	) PSジャパン株式会			会社	社 水島工場			岡山県倉敷市潮通三丁目13番地						
		(5)	旭	化成	ケミカ	ルズホ	朱式会	社	【C地区】		岡山	」県倉敷下	<b>ド児島塩</b> 生	上字新浜2	767-1	1
	特定事業者 ☑ ①燃料等原油換算1,500k@以上 □ ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 □ ③CO₂換算3,000t以上の該当要件 (●工場等の数 2 所 ●車両台数(②該当の場合) 台)															
温室	効果ガ	ス 基	準生	F度(	平成	21	年度)		(平成	26	)年	度排出量	目標生	F度(平成	26	年度)
排出	量			2, (	034, 608	8 t C	$0_2$		<u> </u>	1, 48	36, 58	30 t CO <sub>2</sub>		1,600,	000 t	$CO_2$
		1	肾号			工場	等の名	名称				(平成	26 )	年度排出	量	
			① 旭化成ケミカルズ				ズ株式	、株式会社【B地区】				1, 486, 580 t CO <sub>2</sub>				
			② (以下を含む)							t CO <sub>2</sub>						
	ここと (本) (本) (土) (土) (土) (土) (土) (土) (土) (土) (土) (土	等一					水島工	場	t CO <sub>2</sub>					$CO_2$		
V ) 19	上川里		④ PSジャパン株式会社 水島工場					水島工場		t CO <sub>2</sub>						
			⑤ 旭化成ケミカルズ株式会社【C地区					]	t CO <sub>2</sub>							
															t	$CO_2$
		=	I ====±+4	4n ==		₩.	-4-	0				<del>4</del> 4 0			- k*k*	ケば)
削減目標 <i>0</i> 達成状況				期間:		平			年度	~	华	平成 2	1 % 4	(		年度)
		군					( 26 )年度削減実						目標達成			
		L	Ш	<b>原</b> 甲	位基準				26. 9	%		21	. 4 %	☑ 達成	L	】未達
(原	単位基	進	室効	果ガス	への排出:	量と密	接な関	係を	・もつ値のP	內容	甘油		原単位当た			- #
の削減目標を 選択している 場合に記入)		を	2								基準年度 ( 26 )年度 目標年度				丰度	
											CO <sub>2</sub> /	( )	co. //	)	20. //	)
(言玄	出重業	:考の2	ム記 .	λ)							C02/	( )	CO <sub>2</sub> /(	)	CO <sub>2</sub> /(	,
(該当事業者)							ベンチマーク指標			ク指標		関連数	対値(平成	26 年	度) 達	成率等
指標の状況		况											· ·			
	減状		白戸	評価	]	<u> </u>										
水島	構造	改善	にお	ける	第1ス											
201	水島構造改善における第1ステップ完了(2012年度)後、計画した効果を維持している。 2015年度は、第2ステップを問題なくスタートできており、効果の拡大が期待できると															

共に、次期新規事業に向けての余力を確保している。

# 【推進体制】

### <本社推進体制>

持株会社社長ーー地球環境対策推進委員会ーー地球環境対策実行委員会、およびLCA専門委員会 (各委員会の役割)

地球環境対策推進委員会:グループ全体の地球環境対策を審議・決定

地球環境対策実行員会:地球環境対策推進委員会の決定事項に対し、具体的な活動を展開

LCA専門委員会:グループへのLCAの普及、グループ製品及び研究開発中の製品のLCA評価を実施

#### 【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
水島製造所	(2014年度実施分) (1) 水島構造改善【第1ステップ】後、安定したコンビナート バランスを維持 (2) 石化事業基盤強化に向け、水島構造改善【第2ステップ】 の実行準備
	(今後実施予定分) (1) 石化事業基盤強化に向け、水島構造改善【第2ステップ】 の実行

## 【森林保全等吸収源対策への取組】

	[林州·怀王·子汉·秋州·州 · ***								
県内で の取組	有	「倉敷美しい森」の森林保全活動へボランティア参加(植樹・下草狩り)							
その他	有	・宮崎県における「あさひの森」での植林活動 ・静岡県における「あさひ・いのちの森」での自然再生活動							

# 【再生可能エネルギーの導入】

県内で の取組	無	
その他	有	・宮崎県延岡支社では、水力発電及びバイオマス発電の継続 ・その他の地区での太陽光発電の導入等

## 【その他特記事項】

#### <水島エコ活動重点実施項目>

- 1) 事務所照明 昼休みの不要時消灯、利用時の照明削減(エリア別消灯)
- 2) お手洗いの照明 不要時の消灯
- 3) パソコン節電対策の実施
- 4) エアコンの設定温度管理
- 5) 複合機、コピー機の原則両面印刷の徹底

#### <排出量の算出について>

- 1) エネルギー起源 : 省エネ法報告値(中電クレジット補正前)を使用
- 2) その他 : 生産活動に伴う排出量を算出して使用
- 3) 排出量の概数 : 実績報告の外数として、石油タールピッチ由来の二酸化炭素【対象

区分に該当せず】の排出が、224,603 t-CO<sub>2</sub>がある。